

精神疾患専門委員会

(平成 26 年度)

平成 26 年度 精神疾患専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 精神疾患専門委員会

委員長 山脇 成人

I. はじめに

厚生労働省は、精神疾患を、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に次いで5大疾患と位置づけ、平成 25 年度からの医療計画では5疾病・5事業として、都道府県は疾病ごとに必要となる医療機能を定めた上で、それぞれの医療機能を担う医療機関を明示し、地域の医療連携体制を構築することが義務づけられた。

精神疾患の中で社会的要請の強いものとして挙げられるものは、認知症、うつ病、児童思春期精神疾患、アルコール・薬物依存、身体合併症問題など多岐にわたる。

本委員会では、平成 25 年度から児童思春期精神医療検討ワーキンググループを立ち上げて「児童虐待」「不登校・ひきこもり」「発達障害」「地域連携」といった諸課題について調査・検討を行っており、平成 26 年度も引き続き活動を行った。また、平成 26 年度からは新たに認知症医療検討ワーキンググループを立ち上げ、県内の認知症疾患医療センターにおける身体合併症対応の課題、各圏域で中核となる専門医療機関やかかりつけ医との連携について検討を行った。

各ワーキンググループの活動について、以下に報告する。

II. 児童思春期精神医療検討ワーキンググループ

趣旨

近年、少子化、家族形態の変化、IT 環境の進歩など、子どもやその家族を取り巻く環境が急速に変化しつつある中で、さまざまな子どもの心の問題が発生し、その数も増えてきている。具体的には、「発達障害」「不登校やいじめ」「虐待」などを中心に問題は多岐にわたり、それらの問題の在り様は、重篤

化・複雑化・広範化といった傾向にある。

これらに対して、児童精神科および小児科を中心に医学的な対応が行われているが、近接領域からは更なる充実が求められている。すなわち精神科や小児科の一般臨床・日常臨床の中で対応が求められるとともに、加えてより困難度の高いケースへの診断や治療が必要となっている。

平成 25 年度に児童思春期精神医療の現状と現場の意識・地域連携の状況についてアンケート調査を実施して分析を行ったところ、5つの課題が浮かび上がってきたことから、平成 26 年度の本ワーキンググループでは、各課題に対して5つのサブグループに分かれ、検討を行った。

各グループの検討結果（添付資料①）

検討にあたっては、県内の精神科・心療内科系を標榜している 289 医療機関にアンケートを実施した（調査結果は別頁参照）。

各グループにおける検討結果（概要）を以下に示す。

【広島県の専門医、診療科の必要人数と現状把握について】

県内の就学前の診療が可能な医療機関は 15、小学生の診療が可能な機関は 27 である。児童思春期の専門精神科医師は 47 名で不足医師数は 53 名以上であることから、県内に必要な専門医師数は 100 名以上である。

年齢別に受診可能な各医療機関が初診を分担して引き受けるような情報提供が必要である。また、精神科医が児童思春期の診断と治療が可能な年齢層を広げていけるような研修会を開催することで、専門の医師数の増加を目指すことが可能である。各地域別で診療可能な医師数や、その地域における児童思春期の人口数とも、今後比較検討が必要となる。

【各児童思春期精神科専門医療機関の診療，相談，サービス機能の実態把握と情報発信方法の検討】アンケートから，専門医療機関においても医師数が不足している実態が明らかとなった。また，専門医療機関内でも医師数の偏在があり，ネットワーク作りが必要である。今後の診療医師を増やすため，ネットワークを作るための活動が期待される。

【現在ある研修会の実態把握と広報による情報提供について】

児童思春期精神医療を志す医師にとって，研修会などの存在はスキルアップの手助けとなり，児童思春期精神医療従事者の増加にもつながる。県内各地で，さまざまな機関により個別に行われている研修会などの情報を集約し，確認できるような情報発信ツールが必要である。今後も継続した更新と情報発信方法の検討が必要となる。

【診療医育成のための研修会の試行について】

平成 25 年度に行ったアンケート結果から，県内に診療に対して前向きな医師が多く見られたことから，一般精神科医のための診療医育成研修会を開催することにより，新たに児童思春期を診る医師や，フォローを行う医師の増加が期待できると考えられる。しかし，単年度に数回程度の研修会では，本当の意味でのスキルアップが難しいため，既存の研修会などの情報提供に力を入れることが先決である。本来は，子どもの心の診療拠点病院において，外来・入院治療を行い，診療医育成研修，支援者のスキルアップ研修，医療・教育・福祉の連携拡充，普及啓発などが一括して継続的に行われることが望ましい。

【事例（処遇）検討会を含むネットワーク会議の試行について】

医療だけでなく，司法・教育・福祉などの関係機関が集まり，情報共有を行うことは重要であり，モデル事業の実施なども含めて今後検討していく必要がある。また，既存のケース検討会（各市町村で開催されている要保護児童対策地域協議会など）へ，精神科医が出席するような仕組み作りを行っていくことも重要である。

児童思春期精神医療について診療可能な医療機関リストの公開について（添付資料②）

平成 26 年度のアンケートでは，各医療機関の医療機関情報の公表の可否についても調査を行った。

本調査でいただいた情報は，児童思春期精神医療を必要とする方が医療機関を探す手助けとなること

を目指し，とりまとめた上で広島県医師会速報第 2258 号（平成 27 年 3 月 25 日号）に掲載したほか，広島県地域保健対策協議会の HP に掲載した。

なお，本リストについては，今後の継続的な更新と，各市町の児童相談所，学校関係者などへも情報周知することが望ましい。

児童思春期精神医療に関連する研修会等の情報リストの公開について（添付資料③）

県内で実施されている研修会などは，現在，一部の医師のみ参加があるという現状のため，広く情報提供する必要があることから，研修会名・連絡先・参加資格といった研修会などの情報を集約し，広島県医師会速報第 2259 号（平成 27 年 4 月 5 日号）に掲載する形で公開を行った。

なお，本リストについても，今後継続的な更新と，情報発信の場所についても検討することが望ましい。

まとめ

県内の精神科・心療内科系を標榜する医療機関に実施したアンケート調査を通じて，児童思春期精神医療の中でも対応可能な年齢層に幅があり，また，現場において児童思春期精神医療を専門とする精神科医師の不足感が生じていることがわかった。

これをふまえて，本 WG では，児童思春期精神医療について診療可能な医療機関リストを作成・公開することで，医療機関を探す保護者を支援するとともに，児童思春期精神医療を志す医師がスキルアップしやすい環境づくりを目指して児童思春期精神医療に関連する研修会などの情報リストを作成・公開した。

児童思春期医療の充実を図るため，今後も引き続きこれらの情報を更新・周知していくことや，新たな研修会開催による医療者側のバックアップ，ネットワーク会議の新設あるいは既存の会議の調整による司法・教育・福祉・医療等関係機関の情報共有が必要と思われる。

Ⅲ. 認知症医療検討ワーキンググループ

趣旨

高齢者人口の増加に伴い，認知症高齢者が増加することが予測され，在宅で医療・介護サービスを受けていない認知症高齢者が多数見込まれる（表 1）。

そして，徘徊，暴言，暴力などの症状（BPSD）が重症化し，家族や施設などが対応できなくなった段階で入院が選択され，認知症患者の精神科病院へ

の入院が大きく増加している。

精神科領域として治療が必要な方が入院している状況であるが、それらの方が身体合併症を発症した場合に、入院中の精神科病院においてどこまで対応可能かが不透明な状況である。そのため、県内の認知症疾患医療センターを対象に認知症入院患者の身体合併症への対応状況の調査を行い、認知症疾患医療センター（8医療機関）における身体合併症対応の課題、各圏域で中核となる専門医療機関やかかりつけ医との連携について考察した。

表1 認知症高齢者数（推計）（単位：人）

区分	H22	H27	H32	H37
認知症高齢者数	65,200	81,000	94,800	108,100
うち在宅	32,600	40,500	47,400	54,080

※「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）における本県の老年人口に、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者数について」（平成24年8月24日付け厚生労働省公表）における日常生活自立度Ⅱ以上の割合等を乗じて算出

県内の認知症疾患医療センターに対する調査内容

- (1) 身体合併症※1を有する認知症患者※2の入院患者数及び主たる入院の理由
- (2) 身体合併症を治療している常勤の内科医、外科医等の有無
- (3) 身体合併症患者を有する認知症患者の受入について
- (4) 入院中に発症した身体合併症への対応について
- (5) 身体合併症を有する認知症患者の一般病院への転院について

※1 認知症担当医以外の対応を必要とする身体合併症

※2 重症度がCDR1以上の患者

調査結果

- (1) 身体合併症を有する認知症患者の入院患者数及び主たる入院の理由

平成25年度に調査対象の医療機関に入院した認知症の入院患者は861人、うち身体合併症を有する患者数は351人であり、認知症入院患者数全体の40.1%であった。

また、身体合併症を有する認知症患者の主たる入院の理由は、認知症の身体合併症の治療が314人であり、全体の89.5%と大半を占めていた。

表2 入院患者数（平成25年度入院患者）

認知症の入院患者数	身体合併症を有する患者数
861人	351人

表3 入院の主たる理由（平成25年度入院患者）

認知症と身体合併症の治療	314人
その他の入院理由	37人

- (2) 身体合併症を治療している常勤の内科医、外科医等の有無

6病院が常勤の内科医、神経内科医を配置しており、1病院が非常勤の内科医のみを配置している。常勤医師配置の内訳は内科医12人（92.3%）、神経内科医（7.7%）であり、内科医が大半を占めている。

表4 常勤の内科医、外科医等の有無（平成25年7月現在）

■ 有 6病院, 13人（内科医12人, 神経内科医1人）
■ 無 1病院, 1人（非常勤内科医）

- (3) 身体合併症を有する認知症患者の受入について
入院時に身体合併症を有する認知症患者の受入は、骨折、脳血管疾患、循環器系疾患、呼吸器系疾患は6病院、消化器系疾患は7病院すべてが受入可能であった。

受入可能な患者の状態像は、全疾患とも専門的な治療が必要ではない場合、専門医の治療を終えた後に経過が安定している場合などが大半を占めていた。

表5 身体合併症を有する認知症患者の受入について

患者の状態像	受入の可否	
骨折	■可能（6病院）	■不可能（1病院）
脳血管疾患	■可能（6病院）	■不可能（1病院）
循環器系疾患	■可能（6病院）	■不可能（1病院）
呼吸器系疾患	■可能（6病院）	■不可能（1病院）
消化器系疾患	■可能（7病院）	□不可能（なし）

- (4) 入院中に発症した身体合併症への対応について
入院中に発症した身体合併症への対応は、骨折、循環器系疾患は4病院、脳血管疾患は5病院、呼吸器系疾患、消化器系疾患は6病院が対応可能であった。

対応可能な患者の状態像は、全疾患とも専門的な治療が必要ではない場合、保存的治療での対応が可能な場合などが大半を占めていた。

表6 入院中に発症した身体合併症への対応について

患者の状態像	対応の可否	
骨折	■可能 (4病院)	■不可能 (3病院)
脳血管疾患	■可能 (5病院)	■不可能 (2病院)
循環器系疾患	■可能 (4病院)	■不可能 (3病院)
呼吸器系疾患	■可能 (6病院)	■不可能 (1病院)
消化器系疾患	■可能 (6病院)	■不可能 (1病院)

(5) 身体合併症を発症した認知症患者の一般病院への転院について

身体合併症を発症した認知症患者の転院について連携する医療機関は7病院すべてが有していた。

認知症の症状による転院の可否については、中核症状のみの場合は7病院すべてが転院は可能と判断したが、周辺症状がある場合は、興奮や徘徊などの状態により1病院が転院は不可と判断した。

患者の状態像による転院については、精神状態が安定している場合、周辺症状が目立たない場合などはすべての状態において転院が可能であった。

一般病院での外来治療については、中核症状のみであればすべての病院で可能との判断であったが、周辺症状がある場合は（外来受診が可能なレベルにないと判断する場合など）不可とする医療機関が2病院あった。

患者の状態像による外来通院の可否については、消化器系疾患のみ7病院すべてが可と判断し、ほかの状態像については不可と判断する医療機関が見られた。

身体合併症治療後の患者の受入については、家族が一般病院での継続治療を望む場合を除き、原則として転院前の精神科病院が受け入れている。

表6 連携する医療機関の有無（認知症患者医療センター指定時に届出ている機関は除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 連携する医療機関がある (7病院) (■総合病院 ■整形外科病院 ■脳神経外科病院 ■内科病院 □その他の病院)
<input type="checkbox"/> 連携する医療機関がない (なし)

表7 症状による転院及び外来治療の可否について

① 転院

認知症の症状	可	否
中核症状がある	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)
周辺症状がある	■可能 (6病院)	■不可能 (1病院)

患者の状態像	可	否
骨折	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)
脳血管疾患	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)
循環器系疾患	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)
呼吸器系疾患	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)
消化器系疾患	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)

② 外来治療

認知症の症状	可	否
中核症状がある	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)
周辺症状がある	■可能 (5病院)	■不可能 (2病院)

患者の状態像	可	否
骨折	■可能 (5病院)	■不可能 (2病院)
脳血管疾患	■可能 (5病院)	■不可能 (2病院)
循環器系疾患	■可能 (6病院)	■不可能 (1病院)
呼吸器系疾患	■可能 (6病院)	■不可能 (1病院)
消化器系疾患	■可能 (7病院)	□不可能 (なし)

表8 身体合併症治療後の患者の受入について（複数回答可）

<input checked="" type="checkbox"/> 原則として転院前の精神科病院が受入 (7病院)
<input checked="" type="checkbox"/> 転院後の一般病院が引き続き対応 (2病院, 家族の希望がある場合等)
<input type="checkbox"/> その他 ()

考察

当ワーキンググループにおいて、認知症患者の身体合併症への対応状況について、調査結果に基づき協議した。

調査結果から、どの病院も概ね専門的治療が必要ない場合、保存的治療の場合、積極的治療の必要がない場合、専門的治療の終了後経過観察の状態で病状が安定している場合など、急性期ではない患者の対応は自院で可能な状況であることが分かった。

しかしながら、入院後に身体合併症を発症した場合の自院での対応、一般病院への転院を伴う専門的治療の必要性の判断、一般病院との連携などに課題があることも分かった。そのため、それらについて

次の考察をする。

■ 1 精神科病院に入院後、身体合併症を発症した認知症患者への対応について

精神科病院においては、病院の設備や身体疾患を診る医師の不足などの問題から、すべての身体合併症への対応には限界がある。また、BPSDなどの精神症状の治療継続のため、精神科のない一般病院での身体治療の受入が困難な事例や本人や家族の希望と病院の判断が異なるなどの課題がある。

これらの課題に対応するため、①精神科病院への身体科医師の充足 ②一般病院への認知症対応力向上の啓発 ③一般病院との日頃からの連携体制の構築 ④入院時に家族に対して身体合併症の発症時の対応方針と現状を説明し理解を得るなどの取組が必要と考えられる。

■ 2 身体合併症を発症した認知症患者の一般病院への転院の際の連携について

精神科病院に入院中に発症した身体合併症により一般病院への転院を要する疾患として、精神科病院での対応が困難である①手術を要する骨折 ②急性の脳血管障害 ③重症感染症などがある。

それらの患者の一般病院への転院については、緊急性・重篤性が高い場合を除き、行動制限を要するような精神症状の悪化を危惧され一般病院から受入を断られるなどの事例も見られる。

これらの事例への対応として、①転院先の医師との薬剤調整、対応方法の助言 ②精神症状悪化時、もしくは退院時の再受入の協力など転院後も一般病院との連携体制を継続することが必要と考えられる。

■ 3 一般病院に転院後、身体合併症の治療を終えた認知症患者の受入について

身体合併症の治療を終えた患者の受入の課題として、①患者の精神状態により身体的治療が完全に終了していないまま受け入れざるを得ない ②環境の変化により転院前より認知症が進行する ③受入時に前主治医からの説明が不足するなどの課題がある。

これらの課題を踏まえて、受入後は、①可能な範囲での加療の継続 ②家族などへの病状の再説明 ③認知機能の一時的増悪、ADLの低下などに対する経過観察の実施などの対応を行うことが必要となり、精神科病院の取組として、①患者に関わる医療情報

を各部署、スタッフが共有すること ②精神科病院内の身体疾患を診療できる体制の構築（内科医などの充足、看護師の技術向上、理学療法士の雇用によるリハビリテーションの実施）などが必要と考えられる。

まとめ

認知症疾患医療センターを対象とした調査及び当ワーキンググループにおける認知症患者の身体合併症への対応状況についての協議の結果から、精神科病院における認知症患者の身体合併症に対する対応力向上に向けた取組の必要性、精神科病院と一般病院の通常時からの連携協力体制の構築が重要であると考えられた。

高齢化の進展に伴い増加が見込まれる認知症高齢者に対応するため、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築するとともに認知症入院医療の質の向上と効率化を図ることが重要である。

IV. ま と め

児童思春期精神医療検討WGでは、アンケート調査の結果をもとに、児童思春期精神医療について診療可能な医療機関リストや研修会などの情報リストを作成・公開し、医療機関を探す保護者を支援するとともに、児童思春期精神医療を志す医師の育成につながるような体制作りを推進すること、新たな研修会開催による医療者側のバックアップ、ネットワーク会議の新設あるいは既存の会議の調整による司法・教育・福祉・医療等関係機関の情報共有が必要であることが報告された。

また、認知症医療体制WGでは、認知症疾患医療センターを対象とした身体合併症医療に関するアンケート調査の結果、認知症入院医療の質の向上と効率化を図るために、精神科病院における認知症患者の身体合併症に対する対応力向上に向けた取組の必要性、精神科病院と一般病院の通常時からの連携協力体制の構築が重要であることが報告された。

平成27年度には、以上のWG報告を広島県の保健医療計画に反映させ、関係医療機関、教育・福祉機関と連携し、実現していく必要がある。また、アルコール・薬物依存、身体合併症問題などについても検討を開始する必要がある。

児童思春期精神医療 アンケート調査票

記入者所属部署

氏名

I. 現在児童思春期専門医療を行っている医療機関の情報についてお尋ねします。

- (1) 医療機関名 _____
- (2) 診療責任者氏名 _____
- (3) 標榜科 _____
- (4) 住所 〒 _____
- (5) 電話・FAX 番号 TEL _____ FAX _____
- (6) ホームページアドレス _____
- (7) 外来診療曜日と診療時間帯（休診日は空白で結構です）
 月曜日（ : ~ : ） 火曜日（ : ~ : ）
 水曜日（ : ~ : ） 木曜日（ : ~ : ）
 金曜日（ : ~ : ） 土曜日（ : ~ : ）
 日曜日（ : ~ : ）
- (8) 診察対象（以下に○を付けて下さい）（複数回答可）
- | | | | |
|---------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 就学前
(0歳～6歳未満) | 2. 小学生
(6歳～13歳未満) | 3. 中学生
(13歳～16歳未満) | 4. 高校生以上
(16歳～20歳未満) |
|---------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|

II. 児童思春期精神医療を必要とする方が医療機関を探す手助けとなるよう、診療可能な医療機関のリストを作成し、公開したいと考えています。その場合、上記I. にて伺ったデータを掲載することをご了解いただけますか？（該当するものに○を付けて下さい）

はい ・ いいえ

※別紙様式の同意書に公表へのご意向をご記入いただき、ご提出賜りますようお願い申し上げます。

III. 現在実施している児童思春期専門医療の診療内容についてお尋ねします。

- (1) 該当するものに○を付けて下さい。（複数回答可）
1. 通院治療 2. 入院治療 3. 集団療育 4. 個別療育 5. 電話相談
 6. 児童思春期デイ・ケア（またはショート・ケア） 7. 児童思春期デイ・サービス
- (2) 初診のためのアクセス方法について該当するものに○を付けて下さい。（複数回答可）
1. 電話予約 2. 紹介状が必ず必要 3. メール予約 4. 直接来院
 5. その他（具体的にご記入下さい） _____
- (3) 専門診療の特徴(疾患、治療技法、アウトリーチの積極的な利用など)を具体的に記載して下さい。

裏面に続く

IV. 貴機関における児童思春期精神医療(20歳未満)が可能な精神科医師数(重複不可)をお答え下さい。

	常勤医師数(人)	非常勤医師数(人)
16歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数		
13歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数		
6歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数		
就学前～20歳未満の精神科治療が可能な医師数		

V. 平成26年11月1日から平成26年11月30日の期間に受診した患者数(初診患者数を除く)及び初診患者数を以下の表にお答え下さい。なお、レセプトコンピュータにて抽出が可能なものもありますのでご利用下さい。

	患者数(人)	初診患者数(人)
16歳～20歳		
13歳～15歳		
5歳～12歳		
0歳～5歳		

VI. 現在の貴医療機関の児童思春期精神医療を専門とする精神科常勤・非常勤医師数をお答え下さい。

1. 常勤医師 _____人 2. 非常勤医師 _____人

VII. 貴機関の現状から、児童思春期精神医療を専門とする精神科医師(常勤)は不足していると思われませんか。下記括弧内のどちらかに○をご記入下さい。

1. () 不足している 2. () 不足していない

VIII. VII.にて「不足している」と回答された医療機関にお尋ねします。追加必要人数をお答え下さい。

あと _____人必要 (主観で結構です)

IX. 現在、広島県内にて開催されている児童精神医学の研修会等について、以下に挙げているもの以外でご存じのものがございましたらお教えてください。(主催者、参加資格、会費の有無、開催場所や日時、内容など)

1. 少年司法と思春期精神医療の対話・懇話会
2. 広島児童青年精神医学研究会 (はすかつぶ：HASCAP)
3. 広島発達障害研究会
4. 広島大学 精神神経医科学 児童思春期・精神医学研究会 (症例検討会)
5. 広島大学 広島精療精神医学研究会
6. 広島市思春期精神保健専門研修 (事務局：広島市精神保健福祉センター)
7. 広島県精神保健福祉応用研修 (発達障害に関する研修・ひきこもりの理解と対応)
(事務局：広島県立総合精神保健福祉センター)
8. 広島県思春期問題研修及び思春期問題事例検討会 (事務局：広島県立総合精神保健福祉センター)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

地対協 精神疾患専門委員会 児童思春期精神医療検討ワーキンググループ
提出期限：平成27年1月23日(金)

別紙様式

児童思春期精神医療における診療可能な医療機関の公表について

広島県地域保健対策協議会では、児童思春期精神医療を必要とする方が医療機関を探す手助けとなる、診療可能な医療機関リストの作成を予定しており、本協議会を構成しております関係機関（広島県医師会・広島県・広島市・広島大学）等のホームページ等において公表するとともに、関係市町へ情報提供することを考えております。

ついては、情報提供にかかるご意向について、下記にご記入のうえ、ご提出いただきますようお願いいたします。

※情報提供いただけない項目がある場合についてのみチェックをつけて下さい

(情報提供する事項)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 医療機関名 | <input type="checkbox"/> 診療責任者氏名 |
| <input type="checkbox"/> 標榜科 | <input type="checkbox"/> 住所 |
| <input type="checkbox"/> 電話・FAX 番号 | <input type="checkbox"/> 診療曜日と診療時間帯 |
| <input type="checkbox"/> ホームページアドレス | <input type="checkbox"/> 貴医療機関ホームページへのリンク |

同意書

当医療機関は、児童思春期精神医療を診療可能な医療機関として、広島県地域保健対策協議会構成機関等のホームページ等において上記の情報を公表するとともに、関係市町へ情報提供することに

- 同意します 同意しません

平成 年 月 日

広島県地域保健対策協議会 会長 様

医療機関名 _____

代表者氏名 _____ 印

児童思春期精神医療アンケート（全体）

※「割合（％）」は小数点第二位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります

※記述内容で文字が判読できなかった箇所は「●」にしてあります

◆回収状況

配布件数	回収件数	回収率（％）
289	88	30.4

I 現在児童思春期専門医療を行っている医療機関の情報について

(8) 診察対象（複数回答可）

区分	件数	割合（％）
1. 就学前（0歳～6歳未満）	15	17.0
2. 小学生（6歳～13歳未満）	27	30.7
3. 中学生（13歳～16歳未満）	45	51.1
4. 高校生以上（16歳～20歳未満）	55	62.5

II 上記 I にて伺ったデータを掲載することをご了解いただけますか？

区分	件数	割合（％）
はい	45	51.1
いいえ	26	29.5
無回答	17	19.3
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

III 児童思春期専門医療の診療内容について

(1) 診療内容について該当するもの（複数回答可）

区分	件数	割合（％）
1. 通院治療	57	64.8
2. 入院治療	10	11.4
3. 集団療育	6	6.8
4. 個別療育	9	10.2
5. 電話相談	8	9.1
6. 児童思春期デイ・ケア（またはショート・ケア）	3	3.4
7. 児童思春期デイ・サービス	1	1.1

(2) 初診のためのアクセス方法について（複数回答可）

区分	件数	割合（％）
1. 電話予約	49	55.7
2. 紹介状が必ず必要	8	9.1
3. メール予約	0	0.0
4. 直接来院	19	21.6
5. その他	7	8.0

IV 児童思春期精神医療（20歳未満）が可能な精神科医師数（重複不可）

16歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合（％）
0人	12	13.6
1人	19	21.6
2人	3	3.4
3人	1	1.1
4人	1	1.1
5人	1	1.1
6人	2	2.3
7人	2	2.3
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	47	53.4
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

16歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合（％）
0人	18	20.5
1人	9	10.2
2人	2	2.3
3人	1	1.1
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	58	65.9
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

13歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	18	20.5
1人	18	20.5
2人	1	1.1
3人	3	3.4
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	1	1.1
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	47	53.4
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

13歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	20	22.7
1人	5	5.7
2人	3	3.4
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	60	68.2
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

6歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	21	23.9
1人	12	13.6
2人	2	2.3
3人	1	1.1
4人	1	1.1
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	51	58.0
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

6歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	22	25.0
1人	4	4.5
2人	1	1.1
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	61	69.3
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

就学前～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	24	27.3
1人	9	10.2
2人	1	1.1
3人	1	1.1
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	53	60.2
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

就学前～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	23	26.1
1人	4	4.5
2人	0	0.0
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	61	69.3
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

V 平成26年11月1日から平成26年11月30日の期間に受診した患者数（初診患者数を除く）及び初診患者数

16歳～20歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	9	10.2
1～10人	20	22.7
11～20人	12	13.6
21～30人	6	6.8
31～40人	3	3.4
41～50人	2	2.3
51～60人	0	0.0
61～70人	1	1.1
71～80人	1	1.1
81～90人	0	0.0
91人以上	1	1.1
無回答	33	37.5
無効回答	0	0.0
計	88	99.8

16歳～20歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	21	23.9
1人	11	12.5
2人	5	5.7
3人	3	3.4
4人	3	3.4
5人	3	3.4
6人	2	2.3
7人	1	1.1
8人	1	1.1
9人	0	0.0
10人以上	2	2.3
無回答	36	40.9
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

13歳～15歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	17	19.3
1～10人	22	25.0
11～20人	4	4.5
21～30人	1	1.1
31～40人	1	1.1
41～50人	1	1.1
51～60人	1	1.1
61～70人	0	0.0
71～80人	0	0.0
81～90人	0	0.0
91人以上	2	2.3
無回答	39	44.3
無効回答	0	0.0
計	88	99.8

13歳～15歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	25	28.4
1人	8	9.1
2人	3	3.4
3人	6	6.8
4人	1	1.1
5人	2	2.3
6人	1	1.1
7人	0	0.0
8人	1	1.1
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	41	46.6
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

5歳～12歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	22	25.0
1～10人	14	15.9
11～20人	1	1.1
21～30人	1	1.1
31～40人	1	1.1
41～50人	1	1.1
51～60人	2	2.3
61～70人	1	1.1
71～80人	0	0.0
81～90人	0	0.0
91人以上	3	3.4
無回答	42	47.7
無効回答	0	0.0
計	88	99.8

5歳～12歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	32	36.4
1人	3	3.4
2人	1	1.1
3人	0	0.0
4人	1	1.1
5人	0	0.0
6人	2	2.3
7人	2	2.3
8人	1	1.1
9人	0	0.0
10人以上	2	2.3
無回答	44	50.0
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

0～5歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	33	37.5
1～10人	9	10.2
11～20人	0	0.0
21～30人	0	0.0
31～40人	0	0.0
41～50人	0	0.0
51～60人	0	0.0
61～70人	1	1.1
71～80人	0	0.0
81～90人	0	0.0
91人以上	1	1.1
無回答	44	50.0
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

0～5歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	35	39.8
1人	5	5.7
2人	2	2.3
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	2	2.3
無回答	44	50.0
無効回答	0	0.0
計	88	100.1

Ⅶ 児童思春期精神医療を専門とする精神科常勤・非常勤医師数

1. 常勤医師

区分	件数	割合 (%)
0人	32	36.4
1人	18	20.5
2人	4	4.5
3人	3	3.4
4人	3	3.4
5人以上	0	0.0
無回答	28	31.8
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

2. 非常勤医師

区分	件数	割合 (%)
0人	34	38.6
1人	12	13.6
2人	1	1.1
3人	2	2.3
4人	0	0.0
5人以上	0	0.0
無回答	39	44.3
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

Ⅷ 児童思春期精神医療を専門とする精神科医師（常勤）は不足していると思われますか

区分	件数	割合 (%)
1. 不足している	37	42.0
2. 不足していない	25	28.4
無回答	26	29.5
無効回答	0	0.0
計	88	99.9

Ⅸ 児童思春期精神医療を専門とする精神科医師（常勤）の追加必要人数（Ⅶにて「不足している」と回答した医療機関）

区分	件数	割合 (%)
0人	0	0.0
1人	20	54.1
2人	10	27.0
3人	1	2.7
4人	0	0.0
5人以上	2	5.4
無回答	4	10.8
無効回答	0	0.0
計	37	100.0

別紙様式 児童思春期精神医療における診療可能な医療機関の公表について

(公表・情報提供に同意する中で) 情報提供いただけない項目

区分	件数	割合 (%)
医療機関名	0	0.0
診療責任者氏名	7	14.9
標榜科	1	2.1
住所	0	0.0
電話・FAX番号	1	2.1
診療曜日と診療時間帯	4	8.5
ホームページアドレス	2	4.3
貴医療機関ホームページへのリンク	6	12.8

公表・情報提供について

区分	件数	割合 (%)
同意します	47	53.4
同意しません	31	35.2
無回答	10	11.4
無効回答	0	0.0
計	88	100.0

児童思春期精神医療アンケート（全体）

Ⅲ 診療内容 （2）初診のためのアクセス方法：5. その他

記述内容
初診日は、原則 9時に来院していただきたい。（家族同伴）
電話等で連携担当に相談して頂き、受診の可否を判断します
受診前に必ず電話にて確認をして下さい。保護者同伴が必要です。
1日1名で原則家族同伴で受診して下さい。
電話予約の上、相談員がまずお話をうかがい、診察の必要性があると判断された場合に診療予約をとる。
紹介状がない場合は、相談員が面接（予約制）で状況を伺ったうえで、必要に応じて保険診療を行います。
「病院なび」から インタネット予約できます

Ⅲ 診療内容 （3）専門診療の特徴

記述内容
高機能ASDを対象とした、応用行動分析、感覚統合療法を予定、訪問看護を中心としたアウトリーチについても将来的には行いたいと考えております。
乳幼児の発達障害、精神分析、森田療法、親ガイダンス
担当医、臨床心理士、精神科ソーシャルワーカーがチームを組んで個々の患者様に対応しています。
・クリニック●●の心理テスト評価を加えた診断依頼（広●性発達障害ect） ・精神病症状発現時の入院加●
不登校、引きこもり、など思春期以降の諸問題に対し、対応、相談
個人精神療法、集団精神療法、作業療法、訪問看護、学校連携、児童デイケア、入院説明会等の取り組み
発達障害の診療が多い。原則として医師の診察のみ。
専門というより、あくまで一般精神科診療の一環として行っているため、初診30分、再診10分程度で対応可能なケースは診療します。
精神障害全般、薬物療法、一般精神療法
個人精神療法、個人遊戯療法、集団精神療法
児童思春期の専門診療は行っておりません。睡眠障害、摂食障害などでこの年齢に該当する方の診療は行っております。
不登校、心身症、発達障害等を中心に診療
精神遅滞、自閉症を中心とする発達障害で、行動障害や精神症状のあるもの、虐待を経験した愛着障害、触法少年
―施設●紹介―
治療としては薬物療法、精神療法、児童指導員による個別療育、●●心理士による個人精神療法 及び 親指導
特になし
精神遅滞、てんかん、発達障害などの疾患を中心に診療しています。
発達障害、情緒障害、などを対象、情緒障害児短期入所施設（愛育園）を併設
専門的なものは何もできておりません。
発達障害の治療を行っている。東洋医学的治療。
専門外来というよりは一般精神科診療の延長なので、初診30分、再診10分程度でフォローできるケースについて診療します。
対人関係に苦手意識を持つ思春期青年期のための小人数集団精神療法を実施
漢方治療、精神療法、アトピー合併症例
漢方療法を主体に加療しています
カウンセリング、薬物療法、リハビリテーション
精神分析的な精神療法（個人、集団）、デイケア（18才～45才対象）
うつ病や社交不安障害、強迫性障害が主体で薬物療法 及び 認知行動療法的アプローチを実施している（近年縮小中）
疾患：主に気分障害 治療：薬物療法（抗うつ薬を主体とする）、精神療法
可能な限り初診のみで、他院に紹介を原則とする。
心理カウンセリング、心理検査、必要なら薬物療法、支持的な精神療法
臨床心理士との連携を行っています。
外来頻度が限られるため診断を中心としたセカンドオピニオン外来が中心
精神療法
認知行動療法、特に生活リズムの改善と行動活性化を行なっています。
発達障害、ADHD、薬物療法、心理療法、各種検査
常勤カウンセラーによるカウンセリング
うつ病、双極性障害、身体表現性障害などに対する薬物療法が主体。
栄養療法
薬物療法を主とする疾患の対応を行っており、カウンセリングは行っておりません。パーソナリティ障害は診ておりません。
子どもと女性（母親）のためのメンタルクリニック、薬物療法と精神療法
特に児童思春期を専門としているわけではないが、一般的な診療は可能
小児神経症、身体症に対する精神療法、漢方療法
広島市中心部で診療しています。交通アクセスなども良い場所です。
就学前幼児の発達障害に対する相談、診療、助言、指導
不安・抑うつ疾患・PTSD（心的外傷）・認知行動・森田療法・精神分析療法 など

Ⅸ 児童精神医学の研修会等

記述内容
広島自閉症治療教育・支援研究会
広島子どもの心研究会（わかば療育園 木曜 19:00～）
広精診の思春期事例別検討会

児童思春期精神医療アンケート（専門のみ）

※「割合（％）」は小数点第二位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります

※記述内容で文字が判読できなかった箇所は「●」にしてあります

◆回収状況

配布件数	回収件数	回収率（％）
289	55	19.0

I 現在児童思春期専門医療を行っている医療機関の情報について

(8) 診察対象（複数回答可）

区分	件数	割合（％）
1. 就学前（0歳～6歳未満）	14	25.5
2. 小学生（6歳～13歳未満）	26	47.3
3. 中学生（13歳～16歳未満）	40	72.7
4. 高校生以上（16歳～20歳未満）	48	87.3

II 上記 I にて伺ったデータを掲載することをご了解いただけますか？

区分	件数	割合（％）
はい	44	80.0
いいえ	11	20.0
無回答	0	0.0
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

III 児童思春期専門医療の診療内容について

(1) 診療内容について該当するもの（複数回答可）

区分	件数	割合（％）
1. 通院治療	49	89.1
2. 入院治療	9	16.4
3. 集団療育	6	10.9
4. 個別療育	9	16.4
5. 電話相談	8	14.5
6. 児童思春期デイ・ケア（またはショート・ケア）	3	5.5
7. 児童思春期デイ・サービス	1	1.8

(2) 初診のためのアクセス方法について（複数回答可）

区分	件数	割合（％）
1. 電話予約	45	81.8
2. 紹介状が必ず必要	8	14.5
3. メール予約	0	0.0
4. 直接来院	17	30.9
5. その他	5	9.1

IV 児童思春期精神医療（20歳未満）が可能な精神科医師数（重複不可）

16歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合（％）
0人	6	10.9
1人	18	32.7
2人	3	5.5
3人	1	1.8
4人	1	1.8
5人	0	0.0
6人	2	3.6
7人	1	1.8
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	23	41.8
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

16歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合（％）
0人	13	23.6
1人	6	10.9
2人	2	3.6
3人	1	1.8
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	33	60.0
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

13歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	11	20.0
1人	18	32.7
2人	1	1.8
3人	2	3.6
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	1	1.8
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	22	40.0
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

13歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	14	25.5
1人	4	7.3
2人	3	5.5
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	34	61.8
無効回答	0	0.0
計	55	100.1

6歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	13	23.6
1人	12	21.8
2人	2	3.6
3人	1	1.8
4人	1	1.8
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	26	47.3
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

6歳～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	15	27.3
1人	4	7.3
2人	1	1.8
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	35	63.6
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

就学前～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	16	29.1
1人	8	14.5
2人	1	1.8
3人	1	1.8
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	29	52.7
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

就学前～20歳未満の精神科治療が可能な医師数（非常勤医師数）

区分	件数	割合 (%)
0人	16	29.1
1人	4	7.3
2人	0	0.0
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	35	63.6
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

V 平成26年11月1日から平成26年11月30日の期間に受診した患者数（初診患者数を除く）及び初診患者数

16歳～20歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	6	10.9
1～10人	17	30.9
11～20人	10	18.2
21～30人	4	7.3
31～40人	3	5.5
41～50人	2	3.6
51～60人	0	0.0
61～70人	1	1.8
71～80人	1	1.8
81～90人	0	0.0
91人以上	1	1.8
無回答	10	18.2
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

16歳～20歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	16	29.1
1人	11	20.0
2人	4	7.3
3人	2	3.6
4人	3	5.5
5人	2	3.6
6人	1	1.8
7人	1	1.8
8人	1	1.8
9人	0	0.0
10人以上	2	3.6
無回答	12	21.8
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

13歳～15歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	13	23.6
1～10人	18	32.7
11～20人	4	7.3
21～30人	1	1.8
31～40人	1	1.8
41～50人	1	1.8
51～60人	1	1.8
61～70人	0	0.0
71～80人	0	0.0
81～90人	0	0.0
91人以上	2	3.6
無回答	14	25.5
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

13歳～15歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	20	36.4
1人	6	10.9
2人	2	3.6
3人	6	10.9
4人	0	0.0
5人	2	3.6
6人	1	1.8
7人	0	0.0
8人	1	1.8
9人	0	0.0
10人以上	0	0.0
無回答	17	30.9
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

5歳～12歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	17	30.9
1～10人	11	20.0
11～20人	1	1.8
21～30人	1	1.8
31～40人	1	1.8
41～50人	1	1.8
51～60人	2	3.6
61～70人	1	1.8
71～80人	0	0.0
81～90人	0	0.0
91人以上	3	5.5
無回答	17	30.9
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

5歳～12歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	24	43.6
1人	3	5.5
2人	1	1.8
3人	0	0.0
4人	1	1.8
5人	0	0.0
6人	2	3.6
7人	2	3.6
8人	1	1.8
9人	0	0.0
10人以上	2	3.6
無回答	19	34.5
無効回答	0	0.0
計	55	99.8

0～5歳（患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	27	49.1
1～10人	7	12.7
11～20人	0	0.0
21～30人	0	0.0
31～40人	0	0.0
41～50人	0	0.0
51～60人	0	0.0
61～70人	1	1.8
71～80人	0	0.0
81～90人	0	0.0
91人以上	1	1.8
無回答	19	34.5
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

0～5歳（初診患者数）

区分	件数	割合 (%)
0人	29	52.7
1人	3	5.5
2人	2	3.6
3人	0	0.0
4人	0	0.0
5人	0	0.0
6人	0	0.0
7人	0	0.0
8人	0	0.0
9人	0	0.0
10人以上	2	3.6
無回答	19	34.5
無効回答	0	0.0
計	55	99.9

Ⅶ 児童思春期精神医療を専門とする精神科常勤・非常勤医師数

1. 常勤医師

区分	件数	割合 (%)
0人	21	38.2
1人	18	32.7
2人	4	7.3
3人	3	5.5
4人	3	5.5
5人以上	0	0.0
無回答	6	10.9
無効回答	0	0.0
計	55	100.1

2. 非常勤医師

区分	件数	割合 (%)
0人	26	47.3
1人	11	20.0
2人	1	1.8
3人	2	3.6
4人	0	0.0
5人以上	0	0.0
無回答	15	27.3
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

Ⅷ 児童思春期精神医療を専門とする精神科医師（常勤）は不足していると思われませんか

区分	件数	割合 (%)
1. 不足している	28	50.9
2. 不足していない	24	43.6
無回答	3	5.5
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

Ⅸ 児童思春期精神医療を専門とする精神科医師（常勤）の追加必要人数（Ⅶにて「不足している」と回答した医療機関）

区分	件数	割合 (%)
0人	0	0.0
1人	16	57.1
2人	8	28.6
3人	1	3.6
4人	0	0.0
5人以上	2	7.1
無回答	1	3.6
無効回答	0	0.0
計	28	100.0

別紙様式 児童思春期精神医療における診療可能な医療機関の公表について

(公表・情報提供に同意する中で) 情報提供いただけない項目

区分	件数	割合 (%)
医療機関名	0	0.0
診療責任者氏名	7	15.6
標榜科	1	2.2
住所	0	0.0
電話・FAX番号	1	2.2
診療曜日と診療時間帯	4	8.9
ホームページアドレス	2	4.4
貴医療機関ホームページへのリンク	6	13.3

公表・情報提供について

区分	件数	割合 (%)
同意します	45	81.8
同意しません	9	16.4
無回答	1	1.8
無効回答	0	0.0
計	55	100.0

児童思春期精神医療アンケート（専門のみ）

Ⅲ 診療内容 （2）初診のためのアクセス方法：5. その他

記述内容
初診日は、原則 9時に来院していただきたい。（家族同伴）
電話予約の上、相談員がまずお話をうかがい、診察の必要性があると判断された場合に診療予約をとる。
1日1名で原則家族同伴で受診して下さい。
紹介状がない場合は、相談員が面接（予約制）で状況を伺ったうえで、必要に応じて保険診療を行います。
受診前に必ず電話にて確認して下さい。保護者同伴が必要です。

Ⅲ 診療内容 （3）専門診療の特徴

記述内容
個人精神療法、集団精神療法、作業療法、訪問看護、学校連携、児童デイケア、入院説明会等の取り組み
不登校、引きこもり、など思春期以降の諸問題に対し、対応、相談
個人精神療法、個人遊戯療法、集団精神療法
担当医、臨床心理士、精神科ソーシャルワーカーがチームを組んで個々の患者様に対応しています。
精神障害全般、薬物療法、一般精神療法
栄養療法
精神遅滞、てんかん、発達障害などの疾患を中心に診療しています。
広島市中心部で診療しています。交通アクセスなども良い場所です。
精神療法
発達障害、ADHD、薬物療法、心理療法、各種検査
子どもと女性（母親）のためのメンタルクリニック、薬物療法と精神療法
常勤カウンセラーによるカウンセリング
専門というより、あくまで一般精神科診療の一環として行っているため、初診30分、再診10分程度で対応可能なケースは診療します。
特に児童思春期を専門としているわけではないが、一般的な診療は可能
発達障害の治療を行っている。東洋医学的治療。
うつ病、双極性障害、身体表現性障害などに対する薬物療法が主体。
乳幼児の発達障害、精神分析、森田療法、親ガイダンス
精神遅滞、自閉症を中心とする発達障害で、行動障害や精神症状のあるもの、虐待を経験した愛着障害、触法少年
—施設●紹介—
治療としては薬物療法、精神療法、児童指導員による個別療育、●●心理士による個人精神療法 及び 親指導
カウンセリング、薬物療法、リハビリテーション
対人関係に苦手意識を持つ思春期青年期のための小人数集団精神療法を実施
外来頻度が限られるため診断を中心としたセカンドオピニオン外来が中心
高機能ASDを対象とした、応用行動分析、感覚統合療法を予定、訪問看護を中心としたアウトリーチについても将来的には行いたいと考え
漢方治療、精神療法、アトピー合併症例
専門外来というよりは一般精神科診療の延長なので、初診30分、再診10分程度でフォローできるケースについて診療します。
発達障害の診療が多い。原則として医師の診察のみ。
精神分析的な精神療法（個人、集団）、デイケア（18才～45才対象）
就学前幼児の発達障害に対する相談、診療、助言、指導
薬物療法を主とする疾患の対応を行っており、カウンセリングは行っておりません。
パーソナリティ障害は診ておりません。
臨床心理士との連携を行っていきます。
疾患：主に気分障害 治療：薬物療法（抗うつ薬を主体とする）、精神療法
不安・抑うつ疾患・PTSD（心的外傷）・認知行動・森田療法・精神分析療法 など
うつ病や社交不安障害、強迫性障害が主体で薬物療法 及び 認知行動療法的アプローチを実施している（近年縮小中）
認知行動療法、特に生活リズムの改善と行動活性化を行なっています。
心理カウンセリング、心理検査、必要なら薬物療法、支持的な精神療法
不登校、心身症、発達障害等を中心に診療
小児神経症、身体症に対する精神療法、漢方療法
発達障害、情緒障害、などを対象、情緒障害児短期入所施設（愛育園）を併設
・クリニック●●の心理テスト評価を加えた診断依頼（広●性発達障害ect）
・精神病症状発現時の入院加●

Ⅸ 児童精神医学の研修会等

記述内容
広島子どもの心研究会（わかば療育園 木曜 19:00～）
広島自閉症治療教育・支援研究会
広精診の思春期事例別検討会

添付資料②

児童思春期精神医療について診療可能な医療機関リスト

医療機関名	診療責任者名氏	標榜科	住 所	T E L	F A X	診 療 曜 日	診 療 時 間	H P	診 療 対 象			備 考
									小学生	中学生	高校生以上	
中 区												
ここの脳神経外科クリニック	河野 恵理	精神科・心療内科	〒730-0005 広島市中区西白鳥町16-17	082-502-0036	082-502-0665	月・火・水・土 木 金	9:00～18:00 9:00～13:00 9:00～12:00	http://www.kouno-nsc.or.jp/	○	○	○	・事前に電話にてご予約下さい ・年齢に合わせて適宜プレイセラピー等の専門治療を行います
清川神経科内科クリニック	清川 育男	精神科・心療内科	〒730-0013 広島市中区八丁堀4-15-3F	082-227-5111	082-227-7211	月・火・木・金 水・土	9:00～18:00 9:00～13:00		○	○	○	
桜クリニク	杉山 信作	児童精神科	〒730-0014 広島市中区上鞆町5-15-302	082-221-2644	082-221-2644	月・火・水・金・土	9:00～17:00	http://sakura-cllife.coocan.jp	○	○	○	・一般の初診受け付けは、現在しておりません。紹介ケースのみです
医療法人こころ本通くらし心療内科	倉本 恭成	心療内科・精神科・内科・神経内科・アレルギー科	〒730-0035 広島市中区本通3-10	082-247-7373	082-247-7373	月・火・水・金・土 木	9:00～17:30 9:00～12:30	http://www.2odnne.jp/kokoro-kuramoto/			○	・16歳以上のみ可
もりた心療内科クリニック	森田 幸孝	心療内科・精神科	〒730-0051 広島市中区大手町2-1-4-5F	082-243-0038	082-248-3145	月・火・木・金 水・土	9:00～18:00 9:00～13:00	www.morita-mental-clinic.com	○	○	○	
広島市立舟入市民病院	黒崎 充勇	小児心療科	〒730-0844 広島市中区舟入幸町14番11号	082-232-6195	082-232-6125	月～金	9:00～12:00 13:00～17:00	http://funairi-hospital.jp/	○	○	○	・必ず事前予約要(電話にて)
木村神経科内科クリニック	木村 進匡	精神科・心療内科・内科・神経科	〒730-0851 広島市中区榎町3-1	082-292-8381	082-231-4396	月・水・金・土 火・木	9:00～18:00 9:00～13:00	http://kimuramenthal-clinic.webmedipr.jp	○	○	○	
東 区												
広島市子ども療育センター附属診療所	田邊 明男	小児科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科	〒732-0052 広島市東区光町二丁目15番55号	082-263-0683	082-261-0545	月～金	8:30～17:15	http://www.hsfj.city.hiroshima.jp/020201010100kodomoroyosotop.html	○	○	○	・必ず事前予約要 ・診療対象は高校生年齢まで
横田メンタルクリニック	横田 則夫	精神科・心療内科	〒732-0053 広島市東区若草町11番2号	082-568-8338	082-568-8339	月～金 土	9:00～18:00 9:00～17:00	http://www.yokota-mental.jp/pc/index.html			○	・事前予約必要 ・16歳以上のみ可
南 区												
医療法人そごう会そごう心療内科クリニック	十河 勝正	心療内科・精神科	〒732-0824 広島市南区的場町1丁目7-20	082-261-0280	082-261-0676	火・水・金 木・土	9:30～12:30 14:30～17:00 9:30～12:30	www.sogo-clinic.jp	○	○	○	
友和クリニック	宇土 博	精神科・神経内科	〒732-0827 広島市南区稲荷町5-4山田ビル2F	082-263-0850	082-262-6810	月・火・木・金 土	9:00～13:00 14:30～17:00 9:00～13:00		○	○	○	

医療機関名	診療責任者氏名	標榜科	住 所	T E L	F A X	診療曜日	診療時間	H P	診療対象				備 考
									就学前	小学生	中学生	高校生以上	
南 区													
メンタルクリニック ラッコリン	中村 道彦	心療内科・精神科	〒734-0003 広島市南区宇品東2丁目7-7-1	082-258-1491	082-258-1492	月・火・水・土・金	9:00～18:00 14:00～18:00	http://www.rakkoring.com	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○	完全予約制 ・小学生は高学年対象 ・昼休憩 12:00～14:00 ・初診は予約制			
医療法人翠星会 松田病院	松田 文雄	精神科・児童精神科	〒734-0005 広島市南区翠4丁目13番7号	082-253-1245	082-253-1225	月・水・木・火・金・土 (第2・第4土曜は休診)	8:30～17:00 8:30～12:00	www.matsuda4137.or.jp	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
みなみストレスクリニック (旧、みなみストレス内科クリニック)	高橋 知章	心療内科・精神科	〒734-0007 広島市南区菅実町1-13-27			火～土	9:00～18:00	www.minami-clinic.jp	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
宇品メンタルクリニック	山本 修	精神科・心療内科	〒734-0014 広島市南区宇品西3丁目1-45-4	082-250-2230	082-250-2231	月・火・木・水・土・金	9:00～18:00 9:00～12:30	www.ujina-mental.jp	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
広島大学病院	山脇 成人	精神科	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3	082-257-5555	082-257-5479	月～金	8:30～17:00	www.hiroshima-u.ac.jp/hosp	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
西 区													
己斐ヶ丘病院	佐川 正治	精神科・神経科	〒733-0815 広島市西区己斐上6-554-1	082-272-2126	082-272-2185	月～土	9:00～12:00	http://homepage2.nifty.com/Koigaoka/access.htm	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
安 芸 区													
医療法人あさだ会 浅田病院	浅田 護	児童思春期心療内科・心療内科・精神科	〒736-0087 広島市安芸区矢野町700番地	082-888-1191	082-888-1193	月～土	9:30～12:30	www.asada-hosp.com	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
安 佐 南 区													
医療法人社団 恵愛会 安佐病院	箱守 英雄	精神科・心療内科	〒731-0101 広島市安佐南区八木五丁目15-1	082-873-2022	082-873-4040	月・土	13:30～16:30	www.keiikai-asa.com	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
緑井メンタルクリニック	上西 清	精神科・心療内科	〒731-0103 広島市安佐南区緑井5丁目29番18号401	082-831-5294	082-831-5295	月・火・木・土	10:00～13:00 15:30～18:30 10:00～13:00 14:30～17:30	www.midorii-mental.com	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				
つじ心療内科	辻 誠一	心療内科・精神科・神経内科	〒731-0112 広島市安佐南区東原1丁目1-2-2F	082-850-3055		月・水・木・土	9:00～18:00 9:00～17:00	http://www.tsuji-clinic.net.jp	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○	・薬物治療を主体とした方のみ対象 ・自傷他害がある方は診ておりません			
いずみ心療内科クリニック	和泉 宏明	精神科・心療内科	〒731-0113 広島市安佐南区西原6丁目8-4	082-850-3388	082-881-1565	火・木・水・土	9:00～19:00 9:00～12:30 9:00～17:00	http://izumi-clinic.net	就学前 ○ 小学生 ○ 中学生 ○ 高校生以上 ○				

医療機関名	診療責任者氏名	標榜科	住所	TEL	FAX	診療曜日	診療時間	HP	診療対象				備考
									就学前	小学生	中学生	高校生以上	
安佐北区													
こころの健康クリニックス可部	倉田 健一	精神科・心療内科	〒731-0221 広島市安佐北区可部四丁目6番2号	082-819-3553	082-819-3554	月・火・水・金 木・土	9:00～17:30 9:00～13:00	www.cocorohealth.net				○	
広島市北部子ども療育センター附属診療所	夜船 展子	精神科・小児科・整形外科	〒731-0223 広島市安佐北区可部南五丁目8-70	082-814-5801	082-815-0541	月～金	8:30～17:15	http://www.hsfj.city.hiroshima.jp/020201020000hokubutop.html	○				・必ず事前予約必要
佐伯区													
広島市西部子ども療育センター附属診療所	山根希代子	精神科・小児科・整形外科	〒731-5138 広島市佐伯区海老山南二丁目2番18号	082-943-6831	082-943-6865	月～金	9:00～17:00	http://www.hsfj.city.hiroshima.jp/020201030000seibutop.html	○				・初診の際は、必ず事前予約必要
呉市													
医療法人緑風会ほうゆう病院	長尾 正嗣	精神科・心療内科	〒737-0001 呉市阿賀北1-14-15	0823-72-2111	0823-70-0025	水・木	9:00～12:00	www.hoyu-hp.com			○	○	・診察曜日は初診日であり、再診の場合は異なる可能性あり ・必ず事前予約必要
呉みどりヶ丘病院	田宮 聡	精神科	〒737-0001 呉市阿賀北1丁目15-45	0823-72-6111	0823-72-6125	土	9:00～16:00	www.kuremidorigoaka.com	○		○	○	・初診紹介については事前にご相談下さい ・必ず事前予約必要 ・原則保護者同伴
医療法人 緑風会 邦友クリニックス	長尾 正嗣	内科・心療内科・精神科・耳鼻咽喉科	〒737-0051 呉市中央1丁目4番2号	0823-23-2111	0823-23-2113	月・水 木	15:00～18:00 9:00～12:00	http://www.hoyu-hp.com/			○	○	・必ず事前予約必要 ・予約制 ・木・日・休日は休診 ・昼休み 12:30～14:00
心療内科 村岡クリニックス	村岡満太郎	心療内科・精神科・内科	〒737-0051 呉市中央2丁目6-10 村上ビルⅡ4F	0823-32-2223	0823-32-2224	月・火・水・金 土	9:00～18:00 9:00～17:00	http://muraoka-clinic.net/			○	○	
小早川クリニックス 心療内科	小早川英夫	心療内科・精神科	〒737-0112 呉市広古新開7丁目8-2 3F	0823-76-3351	0823-76-3352	火～金 土	9:00～12:30 14:30～18:00 9:00～12:30 13:30～17:00	www.kobayakawa-cl.com			○	○	
福山市													
びんごクリニックス		精神科・内科	〒720-0061 福山市丸之内1-3-9	084-932-0257	084-922-3384						○	○	
福山友愛病院		精神科・神経科・内科	〒720-0832 福山市水呑町302-2	084-956-2288	084-956-2283	月～土	9:00～18:00	www.yuai-hospital.or.jp				○	
医療法人社団緑誠会 光の丘病院		精神科	〒720-1147 福山市駅家町向永谷302	084-976-1415	084-976-0954	月～金 土	9:00～16:30 9:00～12:00	www.hikarihp.com				○	
福山市子ども発達支援センター	伊予田邦昭	小児科	〒720-8512 福山市三吉町南二丁目11番22号	084-928-1351		月～金	8:30～17:15	http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kodomo/17579.html	○				・電話での予約必要

医療機関名	診療責任者名氏	標榜科	住 所	T E L	F A X	診療曜日	診療時間	H P	診療対象			備 考
									就学前	小学生	中学生	
福 山 市												
(医) 藤田小児科 内科医院	藤田 仁志		〒721-0907 福山市春日町3-10-25	084- 948-6500	084- 948-6505			http://www.fujita- garden.com/	○	○	○	
医療法人社団若葉 会 蔵王病院	石川 博	精神科・神経 科・内科	〒721-0973 福山市南蔵王町6-23-1	084- 941-2512	084- 941-8817			http://www14.ocn.ne.jp/ ~zaouhp/index.html			○	・児童思春期の外 来医師は曜日が 決まっています ・必ず電話にて確 認してください
三 原 市												
医療法人大慈会 三原病院	小山田孝裕	精神科・内科	〒723-0003 三原市中之町6-31-1	0848- 63-8877	0848- 62-0055	月～土	9:00～12:00	www.miharahp.com			○	
医療法人あやめ会 押尾クリニック	押尾 雅友	神経科・内科	〒723-0014 三原市城町1丁目12-23-1	0848- 67-8766	0848- 67-8767	月・火・木・金 水 土	9:00～18:30 9:00～12:30 9:00～14:00				○	・事前予約要 ・12:30～15:00 の間は休み
医療法人仁康会 港町クリニック		精神科・神経 科・内科	〒723-0017 三原市港町3丁目19番6号	0848- 62-1711	0848- 62-1712	月～金 土	8:40～17:00 8:40～12:00	www.jinkokai.jp/minato/			○	
公立大学法人 県 立広島大学保健福 祉学部附属診療所	藤巻康一郎	精神科	〒723-0053 三原市学園町1-1	0848- 60-1132	0848- 60-1132							
大 竹 市												
広島西医療センター		小児科(精神 科(病院とし て))	〒739-0696 大竹市玖波4-1-1	0827- 57-7151		月～金	9:00～17:00	www.hiro-nishi-nh.jp	○	○	○	・予約制 ・高校生年齢まで
廿日市市												
ふじかわ心療内科 クリニック	藤川 徳美		〒738-0023 廿日市市下平良1丁目3 -36-201	0829- 34-0035	0829- 34-0040	月・火・金 水・木・土	8:30～18:00 8:30～12:30	www.myclinic.ne.jp/ fujikawa_cli/pc/			○	
医療法人 みやうち 廿日市野村病院	野村 陽平	内科・呼吸器 内科・消化器 内科・神経内 科・心療内 科・精神科・ リハビリテー ション科・放 射線科	〒738-0034 廿日市市宮内字佐原田 4209-2	0829- 38-2111	0829- 38-2171	月・火・木・金・土	9:00～17:00	http://www.miyauchi. or.jp/			○	・事前に電話でお 問い合わせ下さ い ・12:00～14:00は 中休み
山 県 郡												
医療法人社団せが わ会 千代田病院	瀬川 芳久	精神科・神経 内科・内科・ リハビリテー ション科	〒731-1535 山県郡北広島町今田 3860番地	0826- 72-6511	0826- 72-6541	火	9:00～17:00	www.chiyoda- hospital.or.jp			○	

医療機関名	診療責任者氏名	標榜科	住所	TEL	FAX	診療曜日	診療時間	HP	診療対象				備考
									就学前	小学生	中学生	高校生以上	
東広島市													
わかみやメンタルクリニック	若宮 真也	精神科・心療内科・神経内科	〒739-0006 東広島市西条上市町5-5 総合不動産ビル3F	082-431-6110	082-431-6810	月・金 火・水・木・土	8:30～18:30 8:30～12:00	www.wakamiya.org		○	○	○	
医療法人 三永会 山崎神経内科医院	山崎 正数	精神科・神経内科・心療内科	〒739-0015 東広島市西条栄町10-27 栄町ビル3F	082-421-1480	082-421-2008	月・火・水・金 木・土	9:00～18:00 9:00～12:30	www.yamasaki.ne.jp		○	○	○	・直接来院して下さい
四季の心クリニック	佐藤 幸夫	心療内科・精神科	〒739-0024 東広島市西条町御園字6035	082-421-8848	082-421-8868	月・火・水・金 土	9:00～18:00 9:00～13:00	www.fourseasons-clinic.com			○	○	
独立行政法人 国立病院機構 賀茂精神医療センター	坂尾 良一	精神科・心療内科・内科	〒739-2693 東広島市黒瀬町南方92	0823-82-3000	0823-82-7352	月・火・金	9:30～12:00	www.hosp.go.jp/~kamo/		○	○	○	・一般外来は月～金 9:00～12:00
府中市													
府中市立湯が丘病院	仲地 律雄	精神科	〒729-3423 府中市上下町矢野100	0847-62-2238	0847-62-8860	月～金	9:00～12:00	www.fuchuo.or.jp/~yugaoka-byoin/index.html					・専門医療は実施しておりません
三次市													
子鹿医療療育センター	澁川 良夫	精神科	〒728-0025 三次市栗屋町1664番地	0824-63-1151	0824-62-1933	月・金 火・土	10:00～12:00 9:00～12:00	http://kojika-mrc.net/		○	○	○	・初診は要予約 ・月・金（初診のみ） ・就学前は3歳～6歳未満
庄原市													
みよしクリニック	三好 和輝	心療内科・精神科	〒727-0013 庄原市西本町2-15-47	0824-72-4133	0824-72-6650	火・金 水・木・土	9:00～17:30 9:00～12:30						○

児童思春期精神医療に関連する研修会等のお知らせ

厚生労働省は、精神疾患を、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病に次いで、5大疾患と位置づけており、精神疾患の中で、社会的要請の強いものとして、児童思春期精神疾患があげられます。

しかし、診療や診断に専門的な知識やスキルが求められる児童思春期精神医療について、診断できる医師は非常に少なく、長い初診待ち期間が発生している状況です。

児童思春期精神医療の体制を整備するべく、広島県地域保健対策協議会の児童思春期精神医療検討WGにてアンケートを実施したところ、研修等を通じて必要となる知識等が習得できれば、診療に対して前向きな考えをお持ちの先生方が多数いらっしゃる事が分かりました。

そこで、児童思春期精神医療について、広島県内で実施されている研修会等のリストを作成致しましたので、児童思春期精神医療にご興味がおありの先生方におかれましては、ぜひリストを活用いただき、研修会にご参加ください。

※研修会の日程や内容等の詳細につきましては、各研修会の連絡先にお問い合わせ下さい。

※ご不明な点がございましたら、広島県医師会 地域医療課（TEL：082-232-7211）までお問い合わせ下さい。

掲載 No	研修会名	連 絡 先			参加資格	備 考
		氏名	医療機関名	住 所		
1	少年司法と思春期精神医療 の対話・懇話会	那須 寛 (事務局長)	わかみや メンタルクリニック	739-0006 東広島市西条上市町5-5 総合不動産ビル3階	082-431-6110	・少年犯罪関連の症例提示が可能な医療・ 相談機関または司法関係の専門家で、総 会で承認された者（見学参加あり） ・少年司法、思春期精神保健・福祉・医療の実 務、研究に携わる者 ・事例を持っている者
2	広島児童青年精神医学研究会 (はすかっぱ：HSCAPの 会)	梶梅あい子	広島大学病院 小児科	734-8551 広島市南区霞1-2-3	082-257-5212	子どもの心の診療に携わっている／関心があ る医師および医療機関勤務のコメディカ ル
3	広島発達障害研究会	松田 文雄 (院長)	松田病院	734-0005 広島市南区翠4丁目13-7	082-253-1245	医師、コメディカルスタッフ
4	広島大学精神神経医学科学児 童思春期・精神医学研究グ ループ（症例検討会）：広 島児童思春期研究会	臣永 郷子 (心理士)	広島大学病院精神科	734-8551 広島市南区霞1-2-3	082-257-5207	医師、看護師、心理士、教員、大学院生な ど
5	広島大学 広島精養精神医 学研究会	皆川 英明 (所長)	広島市精神保健福祉 センター	730-0037 広島市中区富士見町11-27	082-248-7731	医師
6	広島県精神保健福祉応用研修 （発達障害に関する研修： ひきこもりの理解と対応）	地域支援課	広島県立総合精神保 健福祉センター	731-4311 安芸郡坂町北新地2丁目3-77	082-884-1051	保健所、市町、社会復帰施設、そのほかの 関係諸機関などで精神保健福祉業務に携る 職員など
7	広島県思春期問題研修会	地域支援課	広島県立総合精神保 健福祉センター	731-4311 安芸郡坂町北新地2丁目3-77	082-884-1051	保健所・市町の精神保健福祉関係者、学校 関係者及び児童思春期福祉関係者など
8	広島県児童思春期精神保健 事例検討ワークショップ		広島県精神保健福祉協会		082-893-6242	児童思春期精神保健の領域で、教育・相談・治 療等に携わっている関係者
9	広島県精神科診療所協会思 春期症例検討会	長田 昌士 (広島県精神診 療所協会 理事)	おさだメンタル クリニック	730-0036 広島市中区袋町1-4-2F	082-247-7300	広島県精神科診療所協会 会員
10	広島子どもの心研究会	田邊 恭 (代表)	Free School あいびい	739-0014 東広島市西条昭和町5-3	082-424-3391	医療関係者、教育関係者、子どもの発達に 興味がおありの方
11	広島自閉症治療教育・支援 研究会	古田 寿子 (代表)	オフィスFURUTA		090-4894-1626	自閉症児・者の支援をされている方、自閉 症に関心がある方

広島県地域保健対策協議会 精神疾患専門委員会

委員長 山脇 成人 広島大学大学院医歯薬保健学研究院
委員 岡本 泰昌 広島大学大学院医歯薬保健学研究院
桑原 正雄 広島県医師会
高畑 紳一 県立広島病院
佐伯真由美 広島県立総合精神保健福祉センター
坂尾 良一 賀茂精神医療センター
瀬川 芳久 千代田病院
田中 和則 広島県健康福祉局高齢者支援課
谷山 純子 広島市こども療育センター
豊田 秀三 広島県医師会
檜谷 義美 広島県医師会
布施 淳一 広島県健康福祉局健康対策課
細田 益啓 広島市健康福祉局障害福祉部精神保健福祉課
皆川 英明 広島市精神保健福祉センター
森岡 壮充 森岡神経内科
安常 香 広島県西部こども家庭センター
山崎 正数 広島県医師会
和田 健 広島市立広島市民病院

広島県地域保健対策協議会 児童思春期精神医療検討ワーキンググループ

委員長 谷山 純子 広島市こども療育センター
副委員長 安常 香 広島県西部こども家庭センター
委員 浅田 護 浅田病院
長田 昌士 おさだメンタルクリニック
岸本真希子 広島市こども療育センター
黒崎 充勇 広島市立舟入市民病院
佐伯真由美 広島県立総合精神保健福祉センター
志々田一宏 広島大学大学院医歯薬保健学研究院
白尾 直子 広島県立総合精神保健福祉センター
西田 篤 広島市こども療育センター
町野 彰彦 広島大学病院
松田 文雄 松田病院
皆川 英明 広島市精神保健福祉センター
矢野 康介 広島市こども療育センター
山崎 正数 広島県医師会
山脇 成人 広島大学大学院医歯薬保健学研究院

広島県地域保健対策協議会 認知症医療検討ワーキンググループ

委員長 瀬川 芳久 千代田病院

委員 石岡 芳隆 光の丘病院

伊藤 聖 三次神経内科クリニック花の里

伊藤 等 千代田病院

井門ゆかり メープルヒル病院

大谷 達夫 宗近病院

柴崎 千代 三原病院

高見 浩 ふたば病院

中村 優 草津病院

山崎 正数 広島県医師会